パリ 失踪、スーツケース、謎の女… 事件はその朝始まった。 **\リソン・フォード** 監督ロマン・ポランスさ HARRISON FORD FRANTIC A SOME PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE

あなたが、言葉もわからぬ見知らぬ土地で、 突然、異常な事件に捲き込まれたとしたら・・・ これは、そんなモダン・サスペンス。

パリの朝。アメリカ人旅行者の夫婦があるホテルに到着した。長旅の疲れをとるためシャワーを浴び、ホッとするひととき。だが、夫がバスルームから出たとき、妻の姿が部屋から消えていた。

誘拐されたのか 。夫はホテルの中を探しまくるが、妻の姿はない。誰かに聞こうにも言葉が通じない。ようやく街のバーで、英語のわかるバーテンを通し、妻の拉致現場を目撃したという男をみつけたが、その男もそれ以上のことは知らない。

警察へ通報しても、アメリカ人の彼にはパリ警察の態度がのんびり見えすぎる。外国では、警察さえも頼れないのか…。

疲れきってホテルに戻ると、部屋の中は何かを探されたらしくひっかき回されている。

彼はようやく、空港で間違えられた妻のスーツケースが事件の鍵だということに気がつく。スーツケースの中から発見した手掛かりは、自由の女神のミニチュアと、あるナイトクラブへ事件の謎を追い、一人の美少女に出会う。そして、その出会いが彼を、事件の核心に近づけ、命がけの冒険へと誘い込んでいく。

日本の海外旅行者も、年間500万人を越えるというが、楽しいはずの海外旅行もこんな恐怖と常に背中合わせにあるのだろうか。さあ、次はあなたが被害者になる番だ!

謎や危険が似合う男…… スリル溢れるハリソン・フォードの魅力が、 パリの裏街のムードに溶け込んで・・・。

主人公ハリソン・フォード、彼ほど謎や危険が似合う役者も珍らしい。「インディ・ジョーンズ」シリーズや「刑事ジョン・ブック/目撃者」でも、私たちを手に汗握るような緊張の中へひき込んでくれたが、この作品でも、正体不明の怖さの中へグイグイと私たちをいざなう。

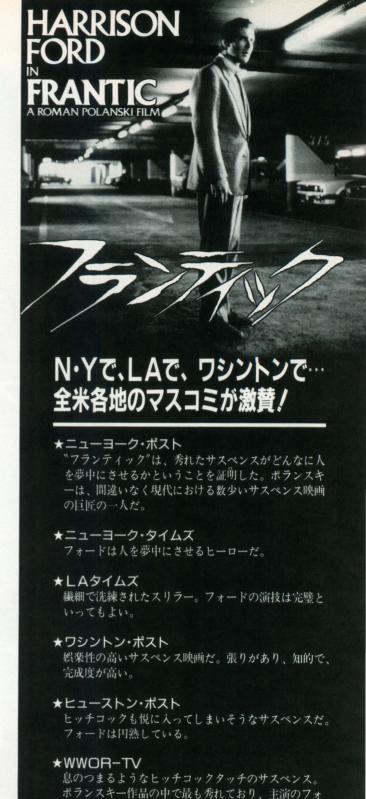
出のうまさもあるのだろうが、ムード溢れるパリの裏街でのサスペンスにハリソン・フォードという役者を起用したとき、この作品はすでに半分成功してしまったといってもよい。ロマン・ポランスキー監督が手掛けた傑作は、デビュー作の「水の中のナオフトやアカデミュー関令管理は、アフィフトのファ

もちろん、巨匠ロマン・ポランスキーの演

デミー脚色賞受賞「ローズマリーの赤ちゃん」 をはじめ、数えあげればきりがないほどだが、 その中でもこの作品「フランティック」は、 彼の代表作となるのではないかという評判も 高い。

また、謎の美少女ミッシェルを演ずるエマニュエル・セイナーや、誘拐された妻役のベティ・バックリイ、アメリカ大使館員役のジョン・マホニーなど、ハリソン・フォードをとりまく役者たちの名演にも心からの賛辞を送りたい。





日一ドショー

カルーブル (214)7761

法谷東急文化会館 IF パンテオン

ードから目が離せない。

**★アット・ザ・ムービーズ** 

出してしまう。

| ミラノ座

次に何が起こるかという緊張と不安で、つい身を乗り

東中・バルコ先生機能ときゅうビルトル 袋東急

特別鑑賞券(一般¥1200/学生¥1100)発売中/